

大切な暮らしを守り抜く。 これまでも、これからも。



震度7に60回耐えた家。*

大地震が起きたとき、最も揺らいではいけないのは、そこに住む家族の暮らしだと三井ホームは考えます。私たちは過去5回観測された震度7の大震災について、三井ホームの住宅被害状況全棟調査を行い、業界で唯一一般にも公開。その結果、構造躯体に大きな損傷は見られず、家具等の転倒も少ないことが明らかになりました。しかし自然の脅威は、つねに人間の想像を超えていくもの。だからこそ私たちは、実際に起きた地震よりさらに過酷な耐震実験に挑戦し、これまでの常識を超える強い揺れにも耐えられるかを検証しています。三井ホームは高い剛性を誇る面構造を強固に一体化した、揺れにくい独自のプレミアム・モノコック構法でこれからもかけがえのない人命と暮らし、そして未来を守り続けていきます。

三井ホームは、独自の木造建築構法「プレミアム・モノコック」を採用した建物で実大振動実験を行い、その強さの検証と更なる建物の強度向上を図っています。

*実施期間:2016/6/2~3(3階建)7/11~13(2階建), 実験場所:国立研究開発法人土木研究所

[本実験結果は、プレミアム・モノコックG(2階建)によるものです。詳細は三井ホーム公式WEBサイトをご確認ください。]

